

施策名：文化財・伝統文化の保存・活用・継承

事業名	担当課・室名	ページ
活かして守る大分の文化財保護推進事業	文化課	1 / 1
先哲史料活用推進事業	文化課	1 / 1

主要な施策の成果（事務事業評価）令和5年度実績【施策コード：Ⅲ-2-(3)】

No.	事業名・事業概要・事業費	主な事業内容	主な事業内容ごとの決算額		成果指標	達成度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	評価	
1	<b>活かして守る大分の文化財保護推進事業</b> ( R3 ~ R5 ) 文化課 「大分県文化財保存活用大綱」に基づき、地域とともに文化財を活かして守るため、市町村の地域計画作成を支援するとともに、文化財への理解・関心を高める情報発信の強化や人材育成等を行う。 予算額 (うち翌年度繰越額) 15,478 (0) 決算額 (うち国庫支出金) 14,780 (2,875)	①「子ども学芸員」体験（先哲史料館及び埋蔵文化財センター） ・現地講座（60回）、子ども企画展（2回） ・子ども学芸員発表会（2回） ②おおい文化財ずかんの作成 大分県の歴史・文化の地域学習で利用できるデジタル・アーカイブ「おおい文化財ずかん」（累計公開件数約950件、動画18作品）の作成及びWebでの公開 ③「地域の宝」ウォーキング 佐伯市で文化財を巡るウォーキングを実施（36名参加） ④地域計画作成支援 市町村職員を対象とした地域計画作成研修会・講演会の実施（2回）	①	9,883	③	426	<b>地域計画作成数</b> [累計：市町村] 事業の成果・社会情勢の影響を踏まえた取組・今後の方針 「子ども学芸員」体験により、現地学習や発表会等を実施することで、子どもたちの地域の歴史に対する理解が深まるとともに、おおい文化財ずかんの公開や「地域の宝」ウォーキングにより、文化財が身近なものとなり、文化財保存に対する関心と理解が進んだ。また、地域の博物館や資料館で再展示を行うなど、各地域でも取組が広がった。一方で、地域計画作成数は、研修会等による働きかけを実施したが、市町村の予算・人員確保の課題もあり目標を下回った。 これらの取組により、当初の事業目的を一定程度達成したことから、当該事業は終了する。	目標値	5	10	C
			②	4,377	④	94		実績値	6	8	
			主な活動指標と達成率		達成率	120.0%		80.0%			
			研修会への参加団体数		目標値	18	実績値	18	達成率		100.0%
			体験学習への参加学校数		目標値	6	実績値	6	達成率		100.0%

No.	事業名・事業概要・事業費	主な事業内容	主な事業内容ごとの決算額		成果指標	達成度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	評価		
2	<b>先哲史料活用推進事業</b> ( R5 ~ R7 ) 文化課 新たな収蔵史料の受入れ体制を強化し貴重な史料を適切に保管するとともに、史料公開を推進するため、収蔵庫改修と史料のデジタル化を行う。 予算額 (うち翌年度繰越額) 27,178 (0) 決算額 (うち国庫支出金) 24,331 (4,620)	①収蔵庫改修 収蔵スペースの増加を図るため、先哲史料館の収蔵庫改修を実施 ②史料デジタル化 大分県の歴史や先哲に関する中世史料等、先哲史料館の収蔵史料のデジタル化を実施（5,460点）	①	15,091	③	<b>デジタル画像のアクセス数及び収蔵史料の利用件数</b> [件] 事業の成果・社会情勢の影響を踏まえた取組・今後の方針 収蔵庫改修により収蔵可能史料数を増加させ、新たな収蔵史料の受入れ体制を整えた。また、収蔵史料のうち、大分県の歴史や先哲に関する重要な史料をデジタル化しウェブサイトで公開したことで、学校教育や生涯学習への活用が推進された。 今後も収蔵史料のデジタル化を進め、積極的な史料公開を行う。	目標値		300	500	A	
			②	9,240	④			実績値		955		—
			主な活動指標と達成率		達成率			318.3%	—			
			デジタル化した史料の点数		目標値	3,000	実績値	5,460	達成率		182.0%	
					目標値		実績値		達成率			